



Connected

デジタルコックピットおよび 車載インフォテイメントの将来予測

デジタルコックピットは消費者向け車両に導入されて以来、技術の成熟/車両のライフサイクル管理、ユーザーのシステムへの期待/受容度といった相関関係の影響を受けています。今日、ソフトウェアに焦点を当てたソリューションはOTAアップデートで常に改善され、世界各国のますます多くのOEMがよりインテリジェントなコックピットソリューションを展開しています。

デジタルコックピットが進化を続ける中、OEM、サプライヤー、開発者のいずれにとっても重要なのは、競合他社より早く、現在のみならず将来の消費者のニーズに対応することです。新たなソリューションにおいて家電製品で馴染みのあるデジタルエクスペリエンスを採用する取り組みが進むのに伴い、こうした消費者ニーズへの対応は特に重要な意味を持つようになります。

本書では、コックピット製品の普及と重要なコックピット機能に関して、今後10年間の装備率を市場ごとに予測します。トップダウンおよびボトムアップアプローチを使用した所定の予測方法による、地域別、コネクティビティ別、サービスタイプ別の詳細分析を提供します。



SBD 2023年度
デジタルコックピットおよび車載インフォテイメントの将来予測
発行年月：2023年01月
SBD-180-1099-23

目次

はじめに：本書の背景と目的

要旨：本書で提供するデータの要約と、より高度なコックピット機能を展開する上で有用な基本機能の概要

主要トレンド：デジタルコックピットの必須機能の分析

将来展望の洞察：現在のコックピットに既に備わっている、または将来のデジタルコックピットに搭載される新機能やコンセプトについて考察

サマリー表：各地域のヘッドユニットタイプ別の提供状況を掲載

次のステップ：エキスパートの見解、SBDの調査サービス

Excelデータベース：欧州、米国、中国の各地域でのデジタルコックピット要素の装備率および数量に関する今後10年間の予測データを提供

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号：635

本レポートシリーズでは、インフォテイメント、ADAS、デジタルキー、VPAなどのHMIのUXや利便性を実車評価する。

2023年度の評価対象車種/システム：Jeep Grand Wagoneer、Nissan Ariya、BYD Seal、Peugeot 408、Fisker Ocean、Ford F-150 Lighting

対象市場

欧州 米国 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

 毎年更新
 半年更新
 四半期更新
 毎月更新
 1
ワンタイム

レポート形態

 PDF
 PowerPoint
 Excel
 Online

ページ数

 124

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- > 今後10年間で、主要なOEMグループはどのようにコックピットを展開するのか？
- > コックピットの搭載やサービスは、地域によってどのように異なるか？
- > 特定のインフォテイメント機能はどのように進化すると予測されるか？

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「デジタルコックピットおよび車載インフォテイメントの将来予測」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

